



—日本の空を支える—
国土交通省 航空局

空港技術職



国家公務員
一般職（技術系）採用案内

[土木、農業土木・建築・機械・電気]



国土交通省

東京航空局／大阪航空局



日本の空を支える Civil Aviation Bureau



MISSION

航空局の役割・使命

航空輸送は、身近な 高速交通手段の一つとして定着し、その意義は人・文化・情報の交流と物流を支え、国内はもとより、広く海外まで広域的にカバーした信頼性とスピードを持った、グローバルな交通機関として飛躍的な発展を遂げています。

また、航空機が翼を休める空港は、地域の産業発展、地域の文化、情報交流の基盤であり、災害時などの輸送拠点としての役割も担っています。これらの役割は、充実した航空ネットワークや安全運航、定時制が確保されて機能するものです。

一方、空港周辺では、「地域との調和・融合を図り共に在りたい」をテーマとした整備も重要なものとなっています。

このような状況と未来を見据え、日本における航空機の安全運航に必要な施設の整備と定時制の確保に必要な施設の整備を行い、空港においては、輸送基盤としてのアクセスやアメニティの向上など都市機能と直結した施設の整備を図り、利用者に優しく魅力ある空港づくりを目指しています。

私たちは、「日本の空」の安全・安心の確保と、航空輸送の発展をこれからも支え続けます。

PROMOTION PROJECT

計画推進



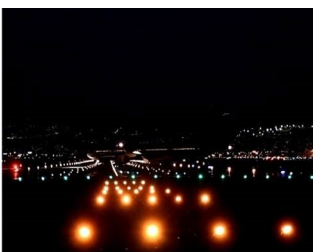
安全・安心で持続可能性と利便性の高い航空・空港サービスの実現

- ① 航空ネットワークの維持・活性化(空港使用料、航空機燃料税の軽減)
- ② 空港受入環境整備等の推進
- ③ 保安検査の量的・質的向上の推進
- ④ FAST TRAVELの推進等によるストレスフリーで快適な旅行環境の実現
- ⑤ 空港整備事業等
〔首都圏空港や地方空港等の機能強化等事業、空港の防災・減災・国土強靱化事業〕
〔空港経営改革の推進・航空路整備事業・空港周辺環境対策〕
- ⑥ 地方航空路線維持・活性化の推進
- ⑦ 操縦士・整備士の養成・確保対策



航空分野のグリーン施策の推進

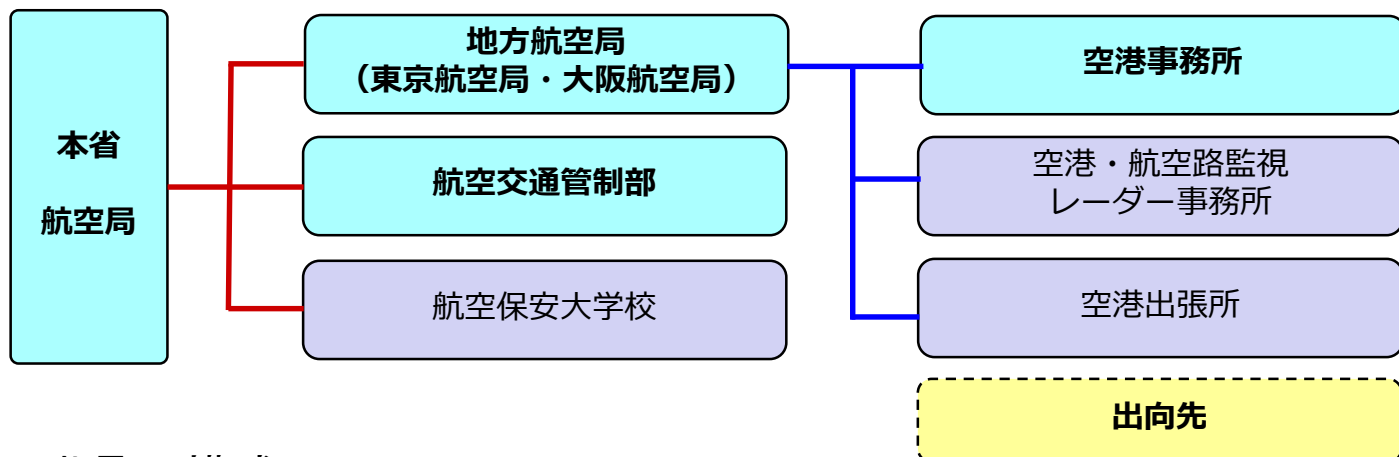
- ① 運航分野における脱炭素化の推進
〔持続可能な航空燃料(SAF)の導入促進・運航の改善・機材、装備品等への新技術〕
〔導入〕
- ② 空港分野における脱炭素化の推進
〔空港施設、空港車両からのCO2排出削減・地上航空機からのCO2排出削減〕
〔再エネ拠点化〕



航空イノベーションの推進

- ① 空飛ぶ車、ドローンの安全対策
〔空飛ぶクルマの社会実装、ドローンの高密度運航等に向けた環境整備〕
〔空港に侵入するドローンへの対処能力の強化〕
- ② 空港業務の体制強化に資する先端技術の導入促進
- ③ 航空機、次世代航空モビリティに対する確実な安全性・実用化の推進

■航空局の組織



■職員の構成

一般職（技術系：土木、農業土木・建築・機械・電気）

職種	業務内容	主な配属先
土木 農業土木	滑走路、誘導路、エプロン及び構内道路の他、進入灯橋梁、共同溝及び貯水槽など、空港の地上・地下にある様々な土木施設が常に安全で円滑に機能するようきめ細やかな点検・維持管理を行っています。	航空局、地方航空局、空港事務所、出向先（地方整備局等）
建築	管制塔・庁舎、無線局舎等の建築施設整備及び保全業務のほか、空港整備計画の企画立案業務や空港周辺の環境対策事業等の業務を行っています。	航空局、地方航空局、空港事務所、出向先（新関西空港（株））
機械	国が管理する空港や管制塔・庁舎、航空保安施設に必要な機械施設、特殊車両の管理、運用、保守に関する企画、立案、調整、監督、検査等の業務を行っています。	航空局、地方航空局、空港事務所、航空交通管制部
電気	航空灯火や管制塔・庁舎、無線局舎等の電気施設の整備及び保全業務のほか、空港整備計画の企画立案業務や航空障害灯等の指導や航空灯火の航空法に基づく検査に係る業務を行っています。	航空局、地方航空局、空港事務所、航空交通管制部

（一般職行政：事務）



（航空管制官・航空管制技術官
・航空管制運航情報官）



（航空保安防災・操縦・整備）



■ 主な空港及び勤務地

・空港技術職は各地の空港事務所や東京・大阪の地方航空局、東京霞ヶ関の本省航空局等で勤務しています。

・空港という非日常的な空間で航空機の離発着を感じながらの業務は魅力的です。

また、様々な地域での生活は、各地の文化や人々との出会いを通じて新たな発見をもたらしてくれるとともに、交友関係の幅も広がります。なお、定期的に勤務地に関する希望を提出する機会を設けており、希望については可能な限り配慮しています。

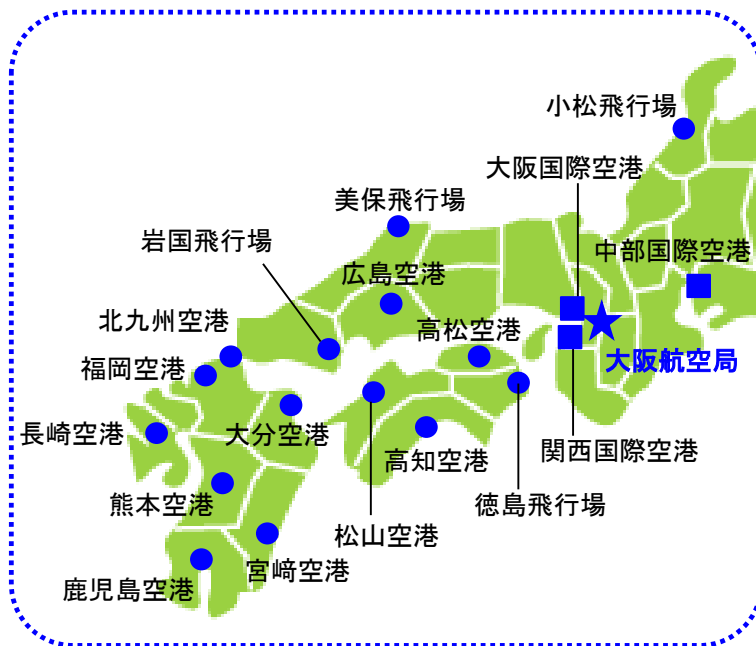
(注意)

職種により勤務地が異なりますので、詳細は各職種の採用担当者にご確認願います。

東京航空局管内



大阪航空局管内



- ■ … 会社管理空港
- ● … 国管理空港／共用空港(飛行場) ※一部民営委託している空港を含む

空港には各専門の技術者が担当する
 「滑走路、誘導路、駐機場等の土木施設」
 「管制塔・庁舎、無線局舎等に関する建築施設、機械施設、電気施設」
 「空港の航空灯火施設」
 が設置されています。

■空港の施設／空港技術者

離着陸の安全と利用者の利便を確保

空港は、滑走路や誘導路などの航空機の離着陸に必要な基本施設、旅客の乗降や貨物の積み降ろしを行う空港ターミナル施設、航空機の離着陸を援助するための航空保安施設、管制を行うための管制施設、庁舎や管制塔などの管理施設、鉄道やアクセス施設等から構成されており、これら多くの施設や設備が一体となって機能することによって安全な航空輸送を支えています。

空港技術者の業務は、空港管理・運用に関する施設の整備・維持管理業務を主体としつつ、空港整備計画等の企画・立案、契約制度への対応、災害対策、空港の安全監督や空港周辺環境対策など幅広いものとなっており、空港技術者としての技術力と合わせて適応力、器用さが求められる職種です。



管制塔・庁舎



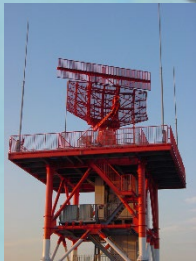
旅客ターミナルビル



立体駐車場



格納庫



無線レーダー



無線局舎



空港特殊車両



機械施設監視装置



進入灯橋梁・航空灯火

滑走路、誘導路、エプロン及び構内道路の他、進入灯橋梁、共同溝及び貯水槽など、空港の地上・地下にある様々な土木施設が空港の機能を支えています。これらの施設の計画、整備また施設が常に安全で円滑に機能するようきめ細やかな点検・維持管理を行っています。

- 空港スペシャルな施設** ✈️ 航空灯火施設や航空無線施設の**基盤となる空港内にある特殊性**の強い橋梁や用地、また滑走路、誘導路、エプロン及び共同溝など空港の地上・地下にある土木施設の**計画、整備**を行い、その施設が常に安全で円滑に機能するよう**点検・維持管理**を行います。
- 強靱な施設** ✈️ **航空機**の離着陸に必要な滑走路は、大型重量級機材が高速走行で離陸し、強い衝撃で着陸を行います。私たちは**空港に必要とされる高強度**の舗装を整備・維持管理します。
- 空港という まちづくり** ✈️ 空港用地は**広大**であるため、**まちづくりの基盤整備**のように、電源供給や排水施設の地下埋設施設を整備・維持管理します



先輩職員より



東京航空局 空港部土木課 松田航大

航空局土木職を選ばれた理由、仕事の面白み、やり甲斐は？

大学で土木を専攻していた関係で土木職の公務員を目指しておりました。非日常空間である空港において専攻してきた分野を生かすことができることに強い感銘を受け、航空局に就職しました。航空局土木職は空港土木施設の維持管理、整備に限らず、空港維持車両の自動運転化、DX等の新技術に携わることができるほか、海外の空港展開等、国際色豊かな部署で働くこともできることが魅力であり、また、自分の携わった案件が空港において目に見える形で残っていくため、微力ながら空港の発展に貢献できていると感じるところにやりがいを感じています。

大阪航空局 長崎空港事務所 施設運用管理官 永田知也

航空局土木職を選ばれた理由は？どんな仕事を行っているの？印象に残っていることは？

高校で土木工学を学んでおり、将来は学んだ知識を生かし、土木職の公務員を目指してました。現在は長崎空港で土木施設の維持管理や工事の監督業務、空港関係者と工事に関する調整などを行っています。これまで長崎空港の他に羽田空港、大阪航空局(空港企画調整課)で勤務してきましたが、大阪航空局の空港企画調整課に在籍していた際に担当した北九州空港の滑走路延長事業が特に印象に残っています。着手の前段階となる環境調査業務を担当し、工事着手する前に長崎空港へ異動になってしまいましたが、工事に着手したとのニュースを見た際にはかなりの達成感を得ました。



空港管理・運用の拠点となる庁舎・管制塔、航空保安施設を格納する局舎、空港の消火救難体制の要となる消防庁舎、維持作業用車両格納のための各種車庫等の様々な建築施設の営繕業務を主体としつつ、空港整備計画等の企画・立案、災害対策や空港周辺環境対策など幅広い業務を行っております。

建築職の主な業務は、空港建築施設のうち、国が設置管理する管制塔・庁舎などの整備及び保全業務です。

計画(予算要求等) ⇒ 設計(発注・仕様書等作成) ⇒ 工事(発注・工事監理) ⇒ 保全(点検・修繕等)



管制塔整備事例



管制塔建設



CGによる視認性の検討



模型を用いた風洞実験



貴賓室整備事例

※国賓及び公賓を接遇するための施設

先輩職員より

大阪航空局 空港部 建築課 福島 由紀也

入省して、仕事での戸惑いはありましたか？

大学では日本建築史、大学院では建築設計を専攻しました。子どものときから飛行機が好きで、鉄の塊がどうして浮かんで飛んでいるんだろうと興味がありました。航空局で建築系の仕事に就けたのはうれしかったですね。

初めころは当然知らないこともあり。空港関連の施設を建築するのに際して、さまざまな制限が課せられています。セキュリティ対策や、飛行機の運航上、高さ制限があるので工事用のクレーンの位置や高さなども考慮して設計や工事を進めていかなければなりません。施工の細かいところ、特に型枠や鉄筋の組み方は、本で見てもなかなか仕組みがわからなかったのが、現場で勉強しながらの日々でした。

入省3年目の仕事の内容は？

3年目から空港企画調整課に移りました。主に那覇空港の整備を担当していますが、(那覇空港ではLCCの影響もあり)今後も空港の利用者数が増えると想定され、ターミナル施設や駐車場などの関連施設をどう配置し直すか、航空会社等の事業者の要望もヒアリングしながら計画・検討を行いました。滑走路も含めた空港全体のマスタープランづくりの側面があるので、建築系というよりも土木系に近い仕事が多いですね。自分の計画した道路や建物の配置が、地図などに残っていくと考えると、とてもやりがいを感じますね。将来的には、海外の空港づくり等の国際業務に参加出来たらいいなと思っています。

いまの学生にアドバイスはありますか？

いろいろな年齢層の人とコミュニケーションをとっておくことかな。私は、喫茶店と建築模型を作るアルバイトで多くの人と接したのが、社会人になってから役に立っていますね。



航空局の機械職は、航空機の運航や空港の運用を支えるために、専門の技術職として国が管理する空港などに設置する機械施設の工事や運用・保守、特殊車両の製造・保守などを主体としつつ、空港整備計画や空港の安全監督など幅広い業務にも従事しています。

機械職の主な業務は、国が管理する空港や管制塔・庁舎、航空保安施設に必要な電源設備などの機械施設の整備・管理・運用・保守及び、消火救難車両などの特殊車両の製造・保守です。

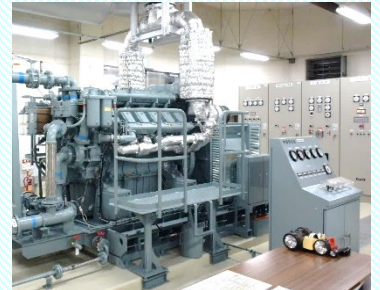
計画(予算要求等) ⇒ 設計(仕様書作成・発注等)・工事(発注・工事監督) ⇒ 運用・保守(点検・修理等)



万が一に備える消火救難車両



航空輸送の安全安心を支える電源設備



空港機能を担う機械設備



機械職の技術と経験で航空輸送の安全安心を支えています



庁舎・管制塔などの建築設備

先輩職員より

東京航空局 空港部 機械課 日比野 亜衣



機械職の業務の魅力とは？

東京航空局では空気調和設備、空港用特殊車両などの発注・設計・工事業務を行っています。

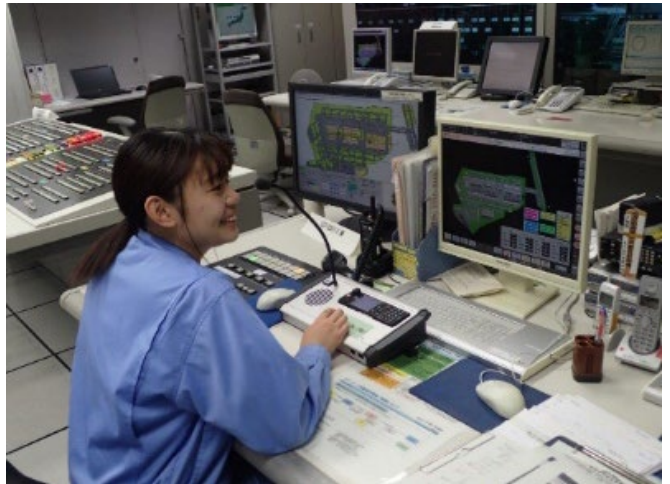
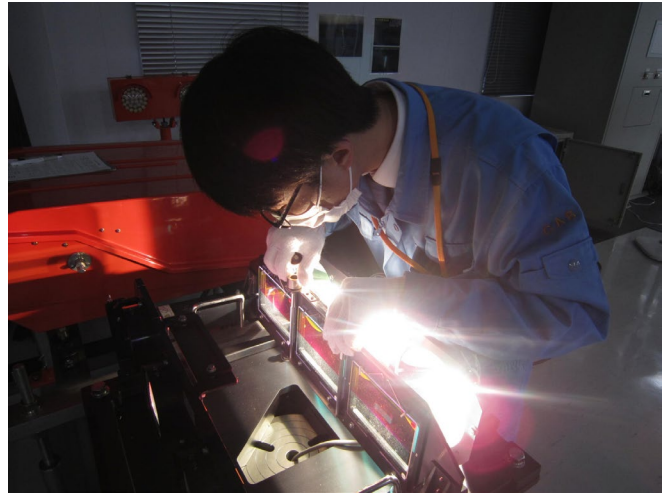
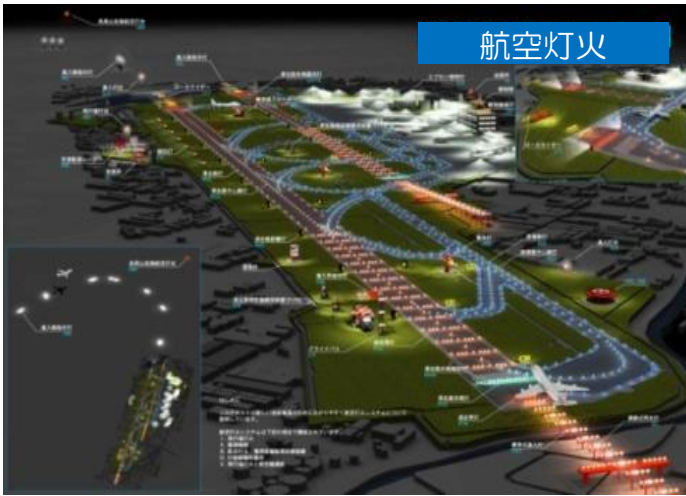
業務の幅が広いので、希望すれば興味のある業務に携わることができると思います。

また、東京航空局だけでなく各空港事務所・管制部にも機械職員は配置されているため、たくさんの選択肢があることが魅力です。

北から南までの各地に空港や無線施設があるため、今まで1度も行ったことが無かった離島などに行く機会があり、その土地ならではの風景や食べ物を楽しんだりしています。

航空灯火や電気施設の運用・管理、保全、整備に係る企画、立案に関する業務に関する業務に従事しています。他にも、航空灯火の設置管理者に対し、航空法に基づく検査、また、航空障害灯、昼間障害標識や類似灯火を設置する者に対し、指導業務を実施しております。

電気職の主な業務は、航空灯火電気施設のうち、国が設置管理する空港の運用・管理、整備です。



先輩職員より

東京航空局 保安部 航空灯火・電気技術課 高橋 宙夢

航空局を選ばれた理由は？

学校では電気科を専攻していました。就職先も電気関連の国家公務員を希望し、迫力ある航空機の離着陸を目の当たりにすることができる職場で働けることや悪天候にも左右されず航空機が安全に運航する上で重要な航空灯火電気施設の大切さ知り、空港の安全を守るという点で社会の役に立ちたいと思いました。採用から間もない頃は分からないことだらけで戸惑いもありましたが、周りの先輩方に仕事を教えていただき、少しずつ覚えていくことができました。

今、どんな業務を担当しているの？

入省から4年間は空港事務所に勤務し、航空灯火電気施設の運用管理、航空灯火施設のLED化や老朽化した電気施設を更新するための整備工事の監督を行ってきました。その経験を活かし、現在は東京航空局で脱炭素社会に向けた航空灯火LED化に係る工事等の予算要求、設計、工事発注をしています。また、高い建物の所有者等に義務付けられている航空障害灯の設置指導を行っています。



FAQ よくある質問

Q 1

求める人材を教えてください

日々発展する航空を取り巻く環境の変化に迅速に対応できる「応用力」、航空局ならではの多様な職種の間と協調できる「コミュニケーション能力」、どのような仕事にもポジティブに取り組む「前向き力」を持っている人を求めています。

Q 2

航空局の魅力を教えてください

全国の空港事務所では、空港という非日常的な空間で航空機の離着陸を横目で見ながらの勤務を経験し、また地方航空局や本省航空局では航空行政に関する企画・立案業務を経験することで、日々発展していく「航空」の世界のスケールの大きさを肌で感じながら、様々な地域・業務の経験を通じて成長していくことができます。

また、多様な職種と全国の様々な地域の仲間との出会いが多いため、交友関係の幅も広がります。

Q 3

転勤について教えてください

全国各地の空港事務所や地方航空局、本省航空局などが勤務地になりますので、転勤先によっては転居を伴う場合があります。

転勤は2～3年ごとにありますが、定期的に勤務地及び職務に関する希望を提出することができます。

Q 4

勤務時間はどうなっていますか

1日の勤務時間は7時間45分です。土日・祝日が休日となります。

勤務時間は原則8時30分～17時15分（昼休1時間）、本省や地方航空局などでは勤務時間（9時00分～17時45分など）を選択できる官署もあります。

土木職、機械職、電気職では、空港事務所の勤務において施設の点検を空港の運用や航空機の運航への影響を考慮して夜間に実施するため、これに立ち会う場合があります。

また、空港事務所の土木職、機械職、電気職の一部の職員は24時間の交替制勤務で業務を行っています。

Q 5

休暇制度について教えてください

有給休暇は年間20日（4月採用は15日）の年次休暇が付与されます。

特別休暇は、結婚・出産・育児など休暇や7月から9月に3日間取得可能な夏期休暇、その他に育児休業や病気休暇、介護休暇の取得が可能です。

また、航空局では職員が生活を楽しみ、仕事と家庭を両立しやすくなるように「ワークライフバランスの推進」に積極的に取り組んでいます。

本ページはお問い合わせの際のメモにご活用ください。

お問い合わせ

国土交通省東京航空局

- 土木、農業土木
国土交通省東京航空局空港部土木課
電話：03-5275-9295 / 担当：採用担当課長補佐
- 建築
国土交通省東京航空局空港部建築課
電話：03-6685-3005 / 担当：採用担当課長補佐
- 機械
国土交通省東京航空局空港部機械課
電話：03-5275-9294 / 担当：採用担当課長補佐
- 電気
国土交通省東京航空局保安部航空灯火・電気技術課
電話：03-6691-9309 / 担当：採用担当課長補佐

国土交通省大阪航空局

- 土木、農業土木
国土交通省大阪航空局空港部土木課
電話：06-6937-2733 / 担当：採用担当課長補佐
- 建築
国土交通省大阪航空局空港部建築課
電話：06-6937-2734 / 担当：採用担当課長補佐
- 機械
国土交通省大阪航空局空港部機械課
電話：06-6937-2735 / 担当：採用担当課長補佐
- 電気
国土交通省大阪航空局保安部航空灯火・電気技術課
電話：06-6937-2766 / 担当：採用担当課長補佐

CIVIL AVIATION BUREAU

案内図

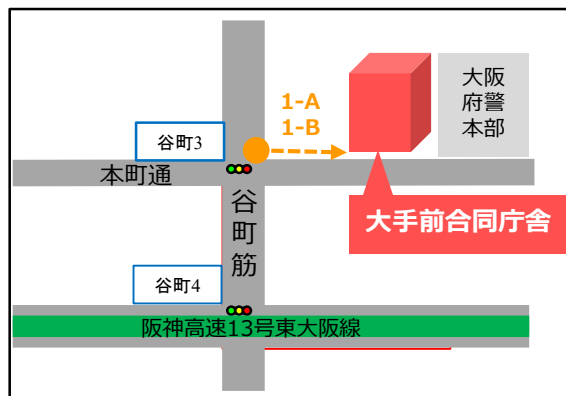
東京航空局

東京都千代田区九段南1-1-15
九段第二合同庁舎
地下鉄「九段下駅」下車 徒歩5分



大阪航空局

大阪府中央区大手前3-1-41
大手前合同庁舎
地下鉄「谷町四丁目駅」下車 徒歩5分



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

東京航空局採用サイト



大阪航空局採用サイト



 国土交通省